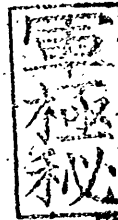


0352



入



船警機密第三二號、七三五

昭和二十年六月八日

船 船 警 武 部

武装商船警武隊戰闘詳報第七三五號

商船船荷丸警武隊長海軍上等兵曹 木村喜七郎

商船船荷丸戰闘詳報

一船、性質 貨物 船(海軍徵備船)

二時刻 場所 昭和二十年五月十四日一〇二五姫島灯台七湊沖

三形 勢 敵情不明警武警報発令中味方本船航行中遠方一筋天候半晴海上平穩視界稍好

四計畫(目的) 大阪發空船ニテ八船ニ回航セントス

五經過 昭和二十年五月十四日一〇二五姫島灯台七湊沖ニ於テ敵戰闘機ニ縮隊ハ機船

首前方高度約五〇〇米ニテ旋回中ナルヲ認メ直ニ取舵轉舵全速ニテ避航中  
敵縮隊船尾上空ヨリ米藤尔後敵ハ二縮隊ヲ以テ反復急降下銃爆撃シ來ルモ其  
ノ都度之ヲ撃退セリ

六七八

ナシ

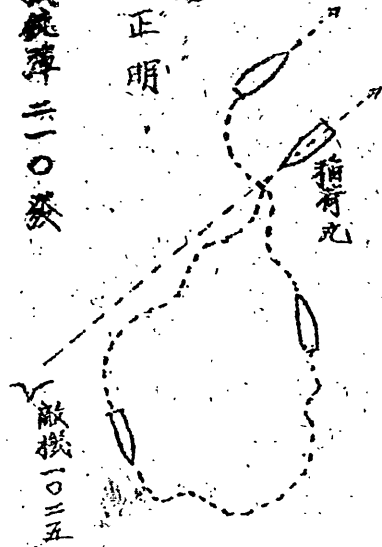
(一) 合 戰 圖

(二) 死 傷 者 調

戦死 上水伊藤金治 梗栗吉一名  
重傷 水長平岡正夫 上水川島正明

(三) 船体失事機関  
(四) 故障火災損調  
(五) 兵器消耗概況

船体機銃彈貫通箇所多数  
二十五粒機銃彈一二〇發  
十三粒機銃彈二一〇發



(五)

(七) 主要人名簿 警隊隊長金殿指揮 上曹木村喜七郎

警隊隊長 上曹木村喜七郎 警隊副隊長 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

警隊隊員 上曹藤金治 警隊隊員 上曹藤金治

(其ノ二)

二時刻場所 昭和二十年五月二十七日〇一〇五北緯三三度五七分東經一三一度〇二分

(福岡縣部崎信號所沖)

三形 敵情不明空襲警報發令中味方本船破泊中 天候晴海上平穩視界稍良好

四計畫(目的及企圖) 徳山ヨリ空船ニテ若松ニ回航ノ途次部崎信號所沖破泊中

五経過 昭和二十年五月二十七日〇一〇五北緯三三度五七分東經一三一度〇二分ノ地

英(福岡縣部崎信號所沖)ニ於テ敵機ボーングレン2機左四五度ヨリ高度約

五〇〇〇米ニテ飛襲次ニ敵機二機遠水左一三五度ヨリ高度約四〇〇〇米ニテ飛

六七八  
合戦圖

襲之ヲ邀撃々退セリ

ナシ

(四)

稲荷丸

(一)

稲荷丸

ナシ

敵機

〇一〇五

(四)兵器消耗調

二五五枚銃弾一三五發

十三枚機銃弾一八〇發 短十二種砲弾一發

(五)ナシ

(七)主要人名簿

(其ノ一)ニ合ジ

(其ノ三)

二時刻場所

昭和二十年五月二十七日二二三三二門司港

三形 勢

敵情不明空襲警報發令中味方水艦隊泊中天候晴海上平穩視界稍良好

四計畫目的及企圖

徳山ヨリ空船ニテ若松ニ回航ノ途次船体修理ノ爲門司錨地ニ破泊中

五経過

昭和二十年五月二十七日二二三三二門司錨地ニ於テ敵「ホーミング」B29一機右四

五度ヨリ高度約三〇〇〇米ニテ來襲之ヲ邀撃々退セリ次テ敵一機右九〇度ヨリ襲撃シ來リ之ヲ猛撃々退セリ更ニ敵「ホーミング」B29一機右四五度山頂上空

大成  
七功  
績  
果  
敵ホーインゴB29一機撃墜  
ナシ

ヨリ高度約三〇〇〇米ニテ味方探照灯ニ捕照射サレツ、來襲セシメ之ヲ猛  
撃機首ヨリ火焰ヲ發セシメ右一機〇度海面ニ墜セリ

敵機三三三  
ナシ

敵機三三三五

敵機三三四〇

敵機撃墜

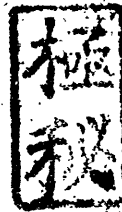
稲荷丸

稲荷丸

稲荷丸

- (一) ナシ
- (二) ナシ
- (三) 兵隊消耗額 二十五挺機銃弾 一八〇發
- (四) 兵隊消耗額 二十五挺機銃弾 一八〇發
- (五) ナシ
- (六) ナシ
- (七) 主要人名簿 (其ノ一) ニ合シ

(終)



海軍功績調査部長殿

昭和貳拾年五月拾五日

海軍徴傭船 船荷丸船長鈴木福松

横須賀鎮守府司令長官殿

徴傭船船荷丸戦闘詳報

一 船ノ性質  
二 時刻場所  
三 形勢  
四 経計  
五 週劃

貨物船 昭和貳拾年五月十四日 自拾時五分  
 船名 燈台ヨリ 八拾式度七理式分  
 敵情 内海西部警戒警報発令中  
 天候 北ノ至輕風半晴海上平穩視界稍良  
 大阪港ヨリ 八幡港ニ向ケ航行中  
 大坂港ヨリ 八幡港ニ向ケ航行中  
 拾時式拾五分 姫島燈台ヨリ 八拾式度七理式分  
 テ針路式八式度速力拾七ノ航行中  
 西万船首ヨリ 式編隊ハ計八機ニ旋回中  
 發見本船直ニ機関全速退避運動ニ移レリ  
 首ヨリ 式機編隊ニテ左舷ニ大ク旋回船尾ヨリ  
 撃セリ 本船機銃全門ヲ開キ之ヲ交戦ニ入レリ  
 ル艦隊 式機ハ右前方ヨリ銃撃ヲ加ヘ來リ  
 八機 式機編隊ニテ波狀的ニ攻撃シ來レリ  
 五分 敵機ハ南西方面ニ敗走セリ  
 戦闘中被害ヲ些少ナラシムル夕ノ敵機ト九拾度ノ角處ニ  
 操船セリ



長

部

六 成

六 内

果

績

八 所

見

同日拾陸時四拾五分上関港ニ避難投錨直ニ夏傷者ヲ同地  
 福井醫院ニ收容應急手當ヲ施シ同日式拾時田名海軍潜水  
 艦學校分校軍醫官米船院セラレ手當ヲ加エタルモ上水、  
 伊藤金治ハ同日式拾時五分頃戦死ス。軍醫長ノ指揮  
 正雄、上水川島正明、上水久保田政一、主計士小池弘保  
 ヲ收容ス。式機ニ対シ主翼ニ布中彈ヲ與ヘタルモ撃墜ニ至ラ  
 ズ。乗組員一同船長ノ指揮ニ從ヒ一致協力シ以テ被害  
 ヲ最少限度ニ喰止メリ。別紙名簿添付  
 上水伊藤金治 九式拾五粒機銃旋回員  
 兵長平岡正夫 後部短拾五粒機銃旋回員  
 上水川島正明 右式拾五粒機銃旋回員  
 上水久保田政一 右式拾五粒機銃旋回員  
 上水杉崎正秋 爆雷員  
 上水青島正男 右式拾五粒機銃旋回員  
 上水矢野文雄 右式拾五粒機銃旋回員  
 上水田下幸雄 右式拾五粒機銃旋回員  
 特二右八名ハ勇戦奮闘益々攻撃ヲ敢行セリ。  
 主計士小池弘保 船長附記係トシテ船橋上ニテ與ヘ  
 現在一般ノ輸送船ノ武装ニテハ敵艦行機ノ襲撃ニ対シ防  
 禦力弱少敵狀ニシテ機銃射手旋回ノ切望ス。出衆得レバ艦  
 行機ノ護衛ヲ望ム。機銃射手旋回ノ切望ス。防弾板及び操舵

手ノ保護服ノ取付ヲ切望ス。

(二)(一) 戦死者調査表  
戦死者調査表  
通リ

上水 伊藤金治

下腹部中央部貫通、右腕前膊貫通

戦死

主計士 小池弘保

拾四日式拾九時拾五分戦死  
前頭部貫通

重傷

上水 川島正明

右頬面裂創、右大腿部貫通



重傷

水兵長 平岡正夫

右内背部裂創  
前頭部軟部貫通



軽傷 軽傷 軽傷 軽傷

上水 久保田政一  
上水 杉崎正秋  
上水 青島正男  
上水 矢野文男

前頭部破片裂創、右大腿部破片裂創  
前膊部破片裂創  
足背部破片裂創  
上膊部破片裂創



輕傷 上水 田下幸雄 下腿部破片裂創

(三) 船体兵器機関ノ故障缺損調査表

銃則彈藥莢及彈銃、船橋門窓ガラス、尤艦舷灯、揚貨機並ニ荷役用具右破損、露天甲板上乘組居住室外板、尤艦救命艇、其ノ他ニ彈痕ガ多敷アリ。操舵器ニ彈痕アリテ一時操舵不能ニ陥リシニ應急修理直ニ復旧ス。右式拾五耗機銃旋回輪ニ敵彈ヲ受ケ旋回不能ニ陥ルニ直ニ應急作業ヲ施シ復旧セシム、右拾參耗機銃架貫通小火災発生セルニ直ニ鎮

(四) 兵器消耗調査表

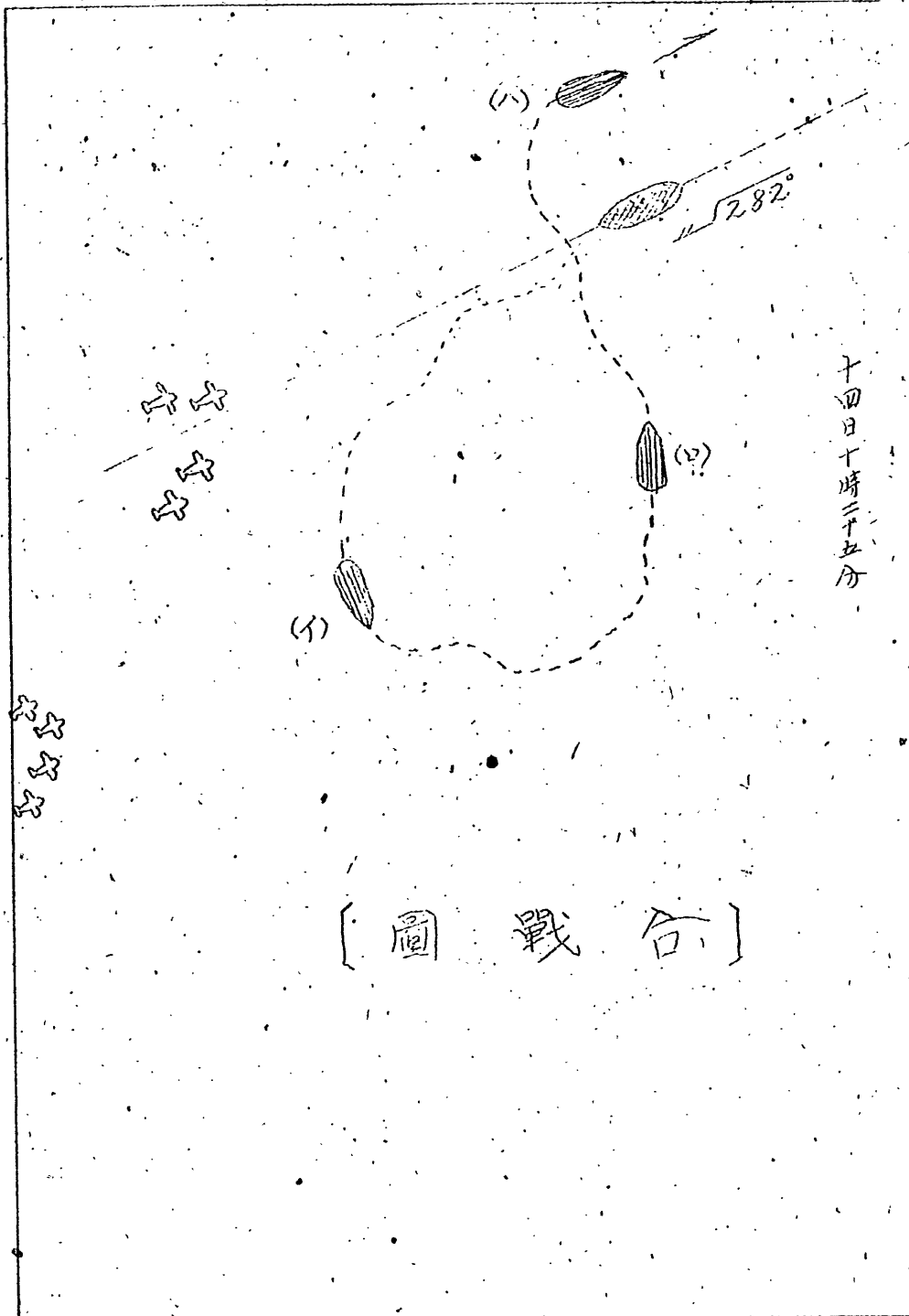
右射擊彈數 五六發  
内訳 普通彈 三三發  
徹甲彈 三二發

拾參耗機銃

右射擊彈數 式拾〇發  
内訳 普通彈 七〇發  
徹甲彈 參五發

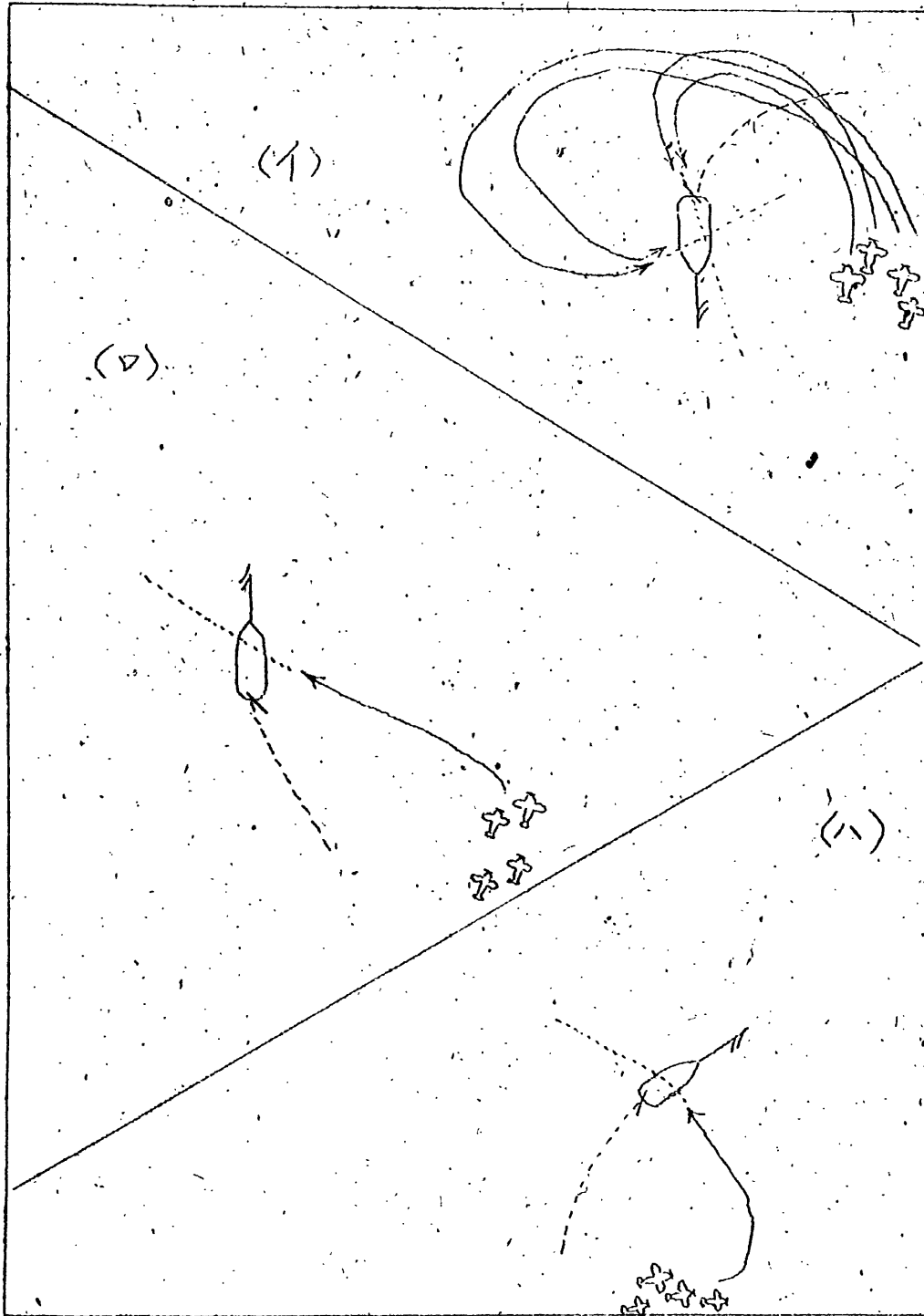
(五) 鹵獲品調査表  
(六) 捕虜調査表  
(七) 主要人名簿

ナシ  
ナシ  
別紙名簿通り



十四日十時三十分

[ 圖 戰 合 ]



船荷丸乗組員名簿

職名	氏名	生年月日	乗船年月日
船長	氏木福松	明治二一六	昭九六二〇
航長	小島明正	大九一三	昭九六二二
航長	成田一夫	明治二二二	昭九六一八
航長	村松孝一	明治二二七	昭九一七
機長	山田千三郎	明治二二七	昭九一七
機長	森多喜雄	大八一〇	昭九一六
機長	神田隼多	大八一〇	昭九一六
機長	小林定八	明治二二七	昭九一七
機長	北川所太郎	大七一〇	昭九一七
機長	大林三郎	大九一〇	昭九一七
機長	本間幸吉	昭二八	昭九一六
機長	松島亨	大〇二五	昭九一六
機長	小池弘保	昭四二	昭九一四
甲板長	前田清次	明治二二八	昭九一八
甲板長	杉谷正治	大九一三	昭九一八
甲板長	卷永榮造	大八一九	昭九一八
甲板長	仲山正治郎	昭三二	昭九一八
甲板長	生駒金四郎	昭四三	昭九一八
甲板長	川本清力	大九一八	昭九一八
甲板長	山崎重敏	大九一八	昭九一八

現住所  
 千葉縣守房郡西岬村見物七五  
 大井田市諏訪町三ノ九  
 札幌市北八條十五丁目  
 門司市八幡町一三〇四  
 福岡縣糸島郡野北村一九四八  
 廣島縣御調郡土生町二〇一八  
 廣島縣鹿兒島市鼓川町五九二  
 茨城縣那珂郡湊町字御殿五九三  
 旭川市三條通り一丁目右六號  
 慶尚南道易寧郡南旨面馬山里  
 堂蘭市海岸通二七  
 德島縣名西郡藍畑村大字東邊丹三二四  
 川越市小仙波町西原一  
 福岡縣嘉穂郡山田町大字下山田五五七  
 千葉縣君津郡中村泉二八二六  
 鹿兒島縣川辺郡笠砂村大浦二四八四  
 館山市船形町一三四〇  
 茨城縣西茨城郡間野町字岩間三〇三五  
 廣島縣守佐郡可部町字中野五二  
 石川縣能美郡西産村字尾小屋力二

機長 守野正馬	機長 佐藤豊助	機長 草間静夫	機長 竹内孝	機長 島田素徳	機長 山本善一	機長 龍戸榮	機長 大井純吉	機長 森三郎	機長 森清之	機長 田頭元喜	機長 水村甚吾	機長 高橋幸一	機長 飯田久蔵	機長 大谷清	機長 高橋秀夫	機長 豆清喜	機長 家崎保彦	機長 西村巳代治	機長 小野村松藏	機長 長澤武	機長 武藤司郎
昭五 一七	昭四 一三	昭四 一八	昭五 三二	昭六 六一	昭四 一七	昭五 一九	昭五 六一	昭五 二二	昭六 二七	昭六 七一	昭六 九二	昭四 九一	昭四 八一	昭四 一七	昭四 三二	昭四 五二	昭四 八三	昭四 一一	昭三 四一	昭四 六一	昭六 七六
昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四	昭一〇 一四

山梨縣東山梨郡松里村小屋敷一四六九  
 埼玉縣北埼玉郡忍町忍一〇二八一  
 岩手縣上岡井郡宮平村下宮平三〇七六  
 三重縣廣倉郡小川郷村大字小川五三三  
 三重縣北牟婁郡相賀町大字相賀  
 茨城縣那珂郡玉川村大字若林一五九  
 愛知縣宝飯郡蒲郡町大字牧山字下長根  
 岸和田市春水町一五三九  
 神奈川縣蒲郡南下蒲町金田町二七五  
 大坂市西成区山王町一六一  
 愛媛縣北宇和郡下灘村立坪井浦三一  
 熊本縣球磨郡格林村下二六一  
 三重縣員辨郡石柙村大字石柙東三八  
 船橋市湊町一〇二三〇三  
 福島縣安達郡山木屋字水間山三八  
 静岡縣沼津郡西角村上澤上峯二四七  
 新潟縣三島郡速迎寺村字西野二五五  
 富山縣射水郡大島村中野二二六五  
 長野縣小縣郡和村字和六五一  
 茨城縣北相馬郡相馬町大字桐木九一一  
 東京都浅草区南屋橋二九  
 東京都品川区南品川三〇四五二



9980

上水  
合

小杉  
暮崎

満正  
二秋

横横  
直補  
水水

一九三  
一五五  
四八

一水  
合

石石  
毛井

佐秋  
久司

横横  
合國  
水

三三  
一一  
二四  
一一  
一一

寫

海軍功績調査部長殿

昭和貳拾年五月貳拾八日

海軍徴傭船船荷丸船長

鈴木福松



軍機秘

鎮守府司令長官殿

船荷丸戦闘詳報

一船の性質  
二時刻場所

三形勢

四計劃

五経過

自昭貳拾年五月貳拾七日貳拾時參拾貳分  
至五月貳拾八日貳時參拾貳分  
錨地門司B区

偵物船  
敵情、福岡地区空襲警報発令中  
天候、南至微風、月夜港内波靜視界稍良好  
德山港ヨリ若松港ニ向ケ航行途中錨留ノタメ船体其ノ他ニ  
故障個所アリ、若松港ニ向ケ航行途中錨留ノタメ船体其ノ他ニ  
昭貳拾年五月貳拾七日貳拾時參拾貳分  
碇泊中、空襲警報発令ハ全員戦闘配置ニ就キ、対空見張中、  
今月貳拾八日〇時三分頃敵大型機(B29)一機高度約五千米突  
東方上空ヨリ西進中ヲ発見陸上ヨリ高角砲射撃セルモ本船  
ハ満ヲ持シテ放シズ情報ニヨレバ敵機ハ四分或ハ五分  
間ヲ置キ後續スル模様ナルヲ以テ一層見張ヲ嚴ニシテ爆音  
聴取中、東方ヨリ敵B29一機本船上空ヲ高度約三五〇〇米位  
ニテ西方ニ向フヲ発見直チニ機銃全門ヲ開キ之ニ一斉射撃  
ヲ加ヘ撃退、次ニB29一機南東方ヨリ西北進中ヲ発見、  
熾烈ニ之ニ対シ、猛攻ヲ加ヘ、主翼ニ命中、彈多數ヲ與ヘ、南方ニ敗  
退セシム、敵分ナラズシテ更ニ一機東ノ山ノ端ヨリ照空燈ニ  
照射サレ、高度約三千米上空ヲ本船ニ向ヒツツアルヲ発見シ

20.6.18



六成 果

七功 績

八所 見

機先ヲ制シ之ヲ攻撃致シ後方船ノ放ツノ數彈ハ見事敵機ノ右翼致存の個所ニ原中火ヲ發シ○時或拾九分頃機体ハ更行遂ニ之ヲ擊墜セリ

一機擊墜ニ機ニ對シ主翼ニ命中彈ヲ與ヘタルヲ確認

乘員一同船長ノ指揮ニ從ヒ一致協力、勇敢沈著ニ攻撃部署ヲ堅守ス

警戒隊員全員(別紙名簿添付)

右之者迅速確實ナル射撃及踏彈ヲ行ヒ沈著冷靜ニ敵協力平奪墜ノ戰果ヲ收メ他ヲ擊破セシメタリ

現在ノ輸送船ノ武裝ニテハ對空射撃ニ對スル防禦力弱少ナリ出末得レバ存船ニ高角砲或ヒハ二十五糎單裝機銃ニ門ノ裝備必要ト思考ス

(一) 右戦圖  
(二) 死傷者調査表  
(三) 船体兵器機銃調査表  
(四) 兵器消耗調査表

別紙ノ通り

故障損シ

式括五糎機銃

右射撃彈數 九〇發

内訳

通常彈 九〇發  
徹甲彈 四五發  
曳跟彈 四五發

括参考機銃

右射撃彈數 九〇發

通常彈 九〇發  
徹甲彈 四五發  
曳跟彈 四五發

(二) 函獲品調査表

(三) 捕虜調査表

ナシ

(七) 主要人名簿 (別紙ノ通り)

稻荷丸乗組員名簿

職名	氏名	生年月日	乗船年月日
船長	鈴木福松	明治二一六	昭九六二〇
航海士	小島明正	七三九一三	全六三三
航海士	成田一夫	明治一〇一	全二一八
航海士	村松孝一	明治一三二	全七二七
機関長	山田三郎	明治三五四	全一一八
機関士	森多喜雄	大八八〇	昭〇四六
機関士	神田隼彦	大二六二五	昭五一一〇
機関士	小林定八	明治九四一	昭八八七
局長	北川野太郎	大七〇〇元	昭九七三九
式通	大林三郎	大五九三二	昭九六六八
式通	本間幸吉	昭二八二五	全七三三
事務長	松島亨	大〇二六六	全一〇三三

職名	氏名	生年月日	乗船年月日
甲板長	前田清次	明治三三八	昭九一一八
甲板長	杉谷正治	大二三五三	昭〇一一四
甲板長	卷木栄造	大八九九	昭〇四九
甲板長	仲山正治郎	昭三二一三	昭九三四
甲板長	生駒屋四郎	昭四三一一	全八一二
甲板長	川本清才	大九八二二	全七六六
甲板長	山崎重敏	大五六一四	全三四
甲板長	武藤司郎	昭六七三六	全九三〇

現住所

千葉縣安房郡西岬村見物七四  
 大牟田市諏訪町三ノ三九  
 札幌市北八條通一五丁目  
 門司市八階町一三〇四  
 福岡縣糸島郡野北村一九四八  
 廣島縣御調郡土佐町二〇一八  
 鹿兒島縣鹿兒島市鼓川町五九二  
 茨城縣那珂郡湊町字御殿五九三五  
 旭川市三條通一丁目石六號  
 慶尚南道易寧郡南旨面馬山里  
 空箇市海岸町二七  
 德島縣名西郡藍畑村本堂東寛丹百三  
 福岡縣嘉穂郡山田町大字下山田五五七  
 千葉縣君津郡中村泉二八一三六  
 鹿兒島縣川辺郡笠砂村大浦二四八四  
 館山市船形町一三四〇  
 茨城縣茨城郡岩間町字岩間上郷三三五  
 廣島縣安佐郡可部町字中郷五二  
 石川縣能美郡西屋村字虎小屋力二  
 山梨縣東山梨郡松里村小屋敷一四九九

甲板心得	長澤 武	昭四六〇	昭七六
小野寺松彦	昭三二一	昭七六	
西村三治	昭四二七	昭三三	
家崎保彦	昭四六三	昭三三	
豆清喜	昭四二七	昭三三	
高橋秀夫	昭四一五	昭三三	
大谷清	昭四一七	昭三三	
飯田久光	昭四八二	昭三三	
高橋幸一	昭四九二	昭三三	
木村甚五	昭六二二	昭三三	
田頭元喜	昭七二七	昭三三	
森清之	昭六二五	昭三三	
森三郎	昭六二五	昭三三	
大内純吉	昭六二五	昭三三	
藤戸榮	昭九一五	昭三三	
山本善一	昭四二五	昭三三	
島田素徳	昭六二五	昭三三	
竹内孝	昭五三二	昭三三	
草間静夫	昭四八七	昭三三	
佐藤善之助	昭四三二	昭三三	
宇野正男	昭五一七	昭三三	
開原進	昭二二一	昭三三	

埼玉縣北埼玉郡忍町忍一〇二一  
 岸宇縣上岡井郡宮守村下宮守三〇七六  
 三重縣廣原郡小川郷村字小川五三三  
 三重縣北牟婁郡相賀町大字相賀  
 茨城縣河原郡玉川村大字若林一五九二  
 愛知縣宝飯郡南郷町大字牧山字上長根  
 岸和田市春木所上五三九  
 神奈川縣三浦郡南浦町屋阿二七五  
 大段市西成区山王所一〇六  
 愛媛縣北宇和郡下灘村字立坪井浦  
 徳島縣珠磨郡梅林村下三〇一  
 三重縣員辨郡石井村大字石井東三三八  
 船橋市湊町一〇三三九  
 福島縣守邊郡山木屋字木間山三八  
 靜岡縣田方郡西南村七澤上咲二四七  
 新潟縣三島郡逢迎寺村字西庄二五九〇  
 富山縣射水郡大島村中野二二六五  
 長野縣小縣郡知村字和六五一  
 茨城縣北相馬郡相馬町大字柳本九二二  
 東京府葛飾郡相馬町大字柳本九二二  
 東京府品川区品川三〇四九二  
 東京府葛飾郡花井村字新田字宮下

等級 氏名 兵籍番號

上等	水村喜七郎	横瀬水 一三五二
上等	成田福松	横瀬水 六八四二
上等	矢野長一	横瀬水 一四三一四
上等	青島正男	横瀬水 一四五一四
上等	加藤秀三	横瀬水 一六一九〇
上等	大村一夫	横瀬水 二一三九九
上等	相馬勝雄	横瀬水 二一八五四
上等	佐藤春雄	横瀬水 二二〇一五
上等	矢野文雄	横瀬水 二一六八三
上等	田下幸雄	横瀬水 二一四七〇
上等	杉山孝次	横瀬水 二一四九四
上等	和久田幸男	横瀬水 二一五六五

緋荷丸警戒隊員名簿

等級 氏名 兵籍番號

上等	米山末松	横瀬水 二一三三六
上等	小楠長太郎	横瀬水 二〇四三五
上等	中島顯	横瀬水 一八九四九
上等	饗庭忠三	横瀬水 一九一五六
上等	伊藤良藏	横瀬水 一五五二二
上等	久保田政一	横瀬水 一九〇七七
上等	荒井初男	横瀬水 一八八九六
上等	杉崎正秋	横瀬水 一九一三五
上等	小暮満二	横瀬水 一一五四八
上等	石井紋一	横瀬水 一一〇〇一
上等	石毛佐久司	横瀬水 一一二二一

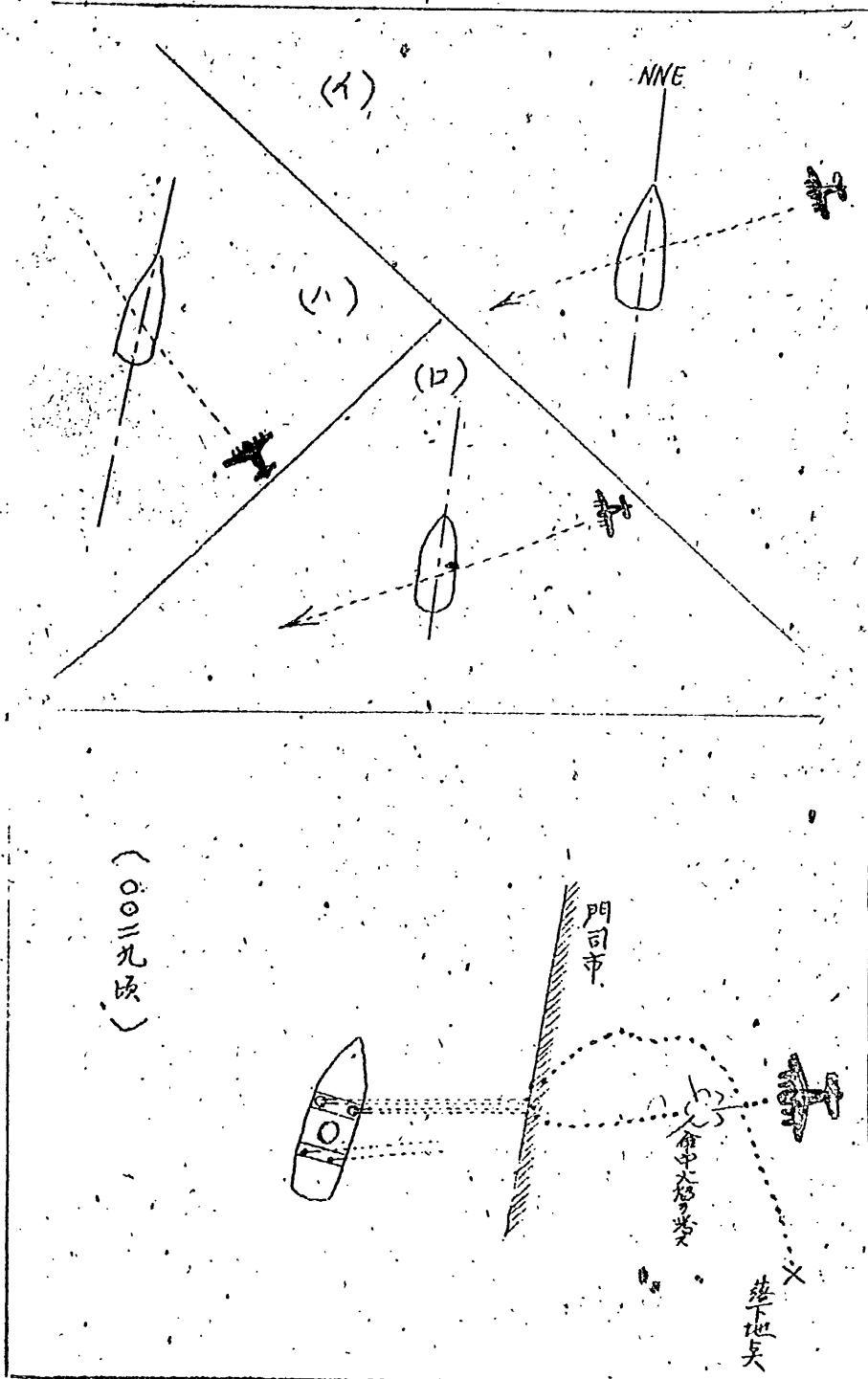
司理手 司理長 司理員 司心得 司見習

司理手	南弘明	昭五 大九三三
司理長	藤波清逸	昭三 明三二五
司理員	鈴木富雄	昭四 大一一一
司理員	鈴木昇	昭二 大一一五
司心得	宍井茂	昭五 大六四
司心得	山本忠義	昭四 大五三
司見習	田中利雄	昭五 大七五

新海縣北播磨郡龍村大字別行  
 群馬縣利根郡系之瀬村字具野瀬中三三四二  
 銚子市南小川町三一九五  
 東京都赤羽区駒込神明町八三  
 滋賀縣多賀町大字多賀五九九

京都府上京区御通合張川東入社家長慶町  
 忠誠南道唐津郡原城西鳳築里九四六  
 北海道檜山郡江差町豊川町一〇六  
 鹿兒島縣大島郡與論村大字茶花二七四

0372

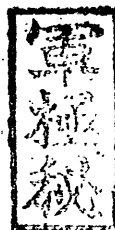


合戦圖

自五月廿七日  
至五月廿八日  
一十三時三十分

於門司B区

0373



昭和二十年六月二十日

海軍徴傭機帆船第一岩手丸戦闘詳報

敬意隊長  
海軍一等兵曹

川端啓次郎

陸軍大臣官邸  
陸軍第六師團

一 船性質

海軍徴傭機帆船

噸數

速力

塔載兵器

(橫須賀所管運輸部配屬)

一六〇〇八噸

五節

九三式十三號機銃一二式(改)爆雷四  
一式小銃二七倍及眼鏡二鐵兜九  
防毒面具發煙筒四各一救命衫四

二 時刻場所

昭和二十年六月八日一三三

千葉縣夷隅郡大原町小佐尻沖一五哩

三 發動前於此敵情勢戰場及天候

敵情勢不明天候曇南東強風波高シハ警戒航行中

四 計畫(目的企圖)

昭和二十年五月九日廿四日大船渡三橫須賀經理部行ハ新五三五〇把塔載シ同月卅一日

〇四〇〇橫須賀向港女川塩釜原釜小名浜三港六月七日〇三〇小名浜岩港眺

子港三港予定ナルモ風波高ク入港困難ニ為勝浦港ニ向フ途中千葉縣夷隅

郡大原町小佐尻沖ニ於テ一三三〇敵機ハ三隻セルヲ以テ直ニ之ニ攻撃ヲ加ヘ

撃滅シ任日全セントス

月日	時刻	記
六七〇三〇		福島縣小名浜港發單獨航行見張配置船橋一名機銃台一名 取此方面(茨城千葉大平洋沿岸)毎日日間二〇〇前後乃至三時 間ハ敵B24小數機偵察ト共ニ我ガ航行船ニ攻撃ヲ加ヘ居リ以 テ夜間航行ヲ選ビ日間ハ鉦子港浦等ニ避泊目的ヲ出港 鉦子港避泊目的ニ處テ本船ノ船速遅キト風波ニ抗シ予定ノ時刻 遅延シ加ヘ此頃ハ鉦子港只波浪高ク且ツ淺淺ノ為メ入港シ得ズ 殊ニ夕刻トナリタルヲ以テ續航翌朝ハ勝浦ニ避泊ヨ決シ航行中 機関故障(クラフ軸燒失)ヲ生ジタルヲ以テ急ギテ修理ニ掛ルト 共ニ漂流(約一時間)ト止ルキニ至リ
六八〇一〇		機関ノ應急修理完了セルト共ニ敵機ノ末龍夜時間トナルヲ以テ 一先避泊セトシ小浜沖ニ近接セルモ港口又激浪ニテ入港ハ危候ニ付 *勝浦ニ向ケ嚴重見張ヲ以テ沿岸航行中
三三〇		大原町小佐尻沖一五哩ニ於テ本船艦ヲリ敵B24一機超低空(高 度約一〇〇米)ヨリ奇襲攻撃シ末ニタルヲ以テ我ハ直ニ裝備ノ十三 機銃ヲ以テ之ニ攻撃ヲ加ヘタルモ敵ハ機銃掃射ヲ加ヘ来ルト 共ニ上カニ於テ爆彈一發ヲ投下シ飛退旋回ス此爆彈一個ハ



本船中部船體ニ命中炸裂一個、船體側海中ニ落下セル為船體中部大  
破航ニ傾斜セルト共ニ機関室ニ火災ヲ生ジ急ギテ消火セントスルモ浸水  
急激為目的達成不得

一三五 敵機ハ旋回後第二回目攻撃ニ入り陸岸山上方面ヨリ飛来シ来リ我

ニ機銃掃射ヲ加ヘ上空ヨリ飛退ニ旋回墮ネテ

一三四 第三回機銃掃射ヲ加ヘ来リテ敵機ハ此ノ三回共低空ニシテ我ガ主戦

機銃ノ攻撃ハ容易ニシテ有効射程内ナルモ單に夜一基ニテ極メテ機関

的ノ短時間ノ射撃ニ命中弾多ク數ヲ與ヘルニ至ラズ敵ハ本船ノ損傷ヲ

正確認セルモ力又陸岸近キヲ以テカ之ハ三回目ノ襲撃ヲ後

一三五 南東洋上遁走セル依テ直戰後處置ニ掛リ人員調査セルニ所在不明

者二名重軽傷者三名ヲ出シ居レルヲ以テ今尚破損ヲ免レル通船ヲ

ルヲ以テ之ヲ急ギ取卸シ生存者十二名ハ之ヲ移来シ上陸セントス

一四〇 船體ハ大傾斜大破浸水後最早復旧ノ道ヲテ逐ニ船ヲ退去リ

此時小浜港ニ救助ヲ為漢業組各員故言防圍協力シ漢船機機船

三隻ヲ以テ救助シ来リ其一隻ニ移来シ救助サレ小浜海岸ニ上陸セリ依

ニ負傷者始メ生存者兼員陸上ニ於テ陸軍救護班及町民ノ手厚キ看

護ヲ受ケ重傷者一名ハ千葉陸軍病院ニ委託入院セシム

尚所在不明ニ名中機関長富川高治ハ大破飛散セル船體一部ト共ニ

大成

七功

八所

一五三〇 同海岸ニ漂着セルヲ以テ之ヲ收容ス其ノ後  
一七〇〇 船体ノ一部(船)ハ小佐凡海岸ニ波浪ト共ニ打揚ゲラレ坐礁ス

(一) 敵損害不明(四) 船員ノ戦中敵言戒隊員協力ス

績(特ニ顯著者ニ敬言戒隊員及船員ノ功績)

(一) 特ニナレ

見(計畫ヲ實施ス不適切ナル所見戦後ニ於ケル敵狀判断及我々之企圖ノ意見)

(一) 攻撃ヲ實施 攻撃ヲ法ニ適切ニ實施セリト認ムルモ尚戦中ニ際シ十分研究訓練ヲ要ス

(四) 戦後ノ敵情

敵機ハ本船ヲ破壊ス傾倒シ應戦ナシト見ルヤ固ニ攻撃ヲシ来タル敵機モ本土

沿岸ニ為テ短時間ニ襲撃ヲ行ヒ南東洋上ニ引上ケルモノ始シ

(一) 護衛ノ強化

本船ヲ沿岸航行中襲撃ヲ受ルモ陸上ヨリノ援護射撃ヲナシテ危険地ニ至ルハ陸上

ニ攻撃ヲ兵器ヲ裝備海空ニ對シテ護衛強化ヲ望ム

(二) 攻撃兵器

船体其他事情ノ許ス限リ攻撃兵器ヲ增加通信兵器ヲ裝備ヲ望ム

死亡傷調査表(乗組員)

職名	氏名	記事	職名	氏名	記事
警戒隊長	吉岡山伸雄	重傷	甲板員	阿部幹人	戦死
機長	富川高治	戦死	機長	阿部善彦郎	軽傷
甲板員	白鳥正義	行方不明			

(1) 船体兵器機関ノ故障致損

船体大破沈没機関モ船体ト共ニ沈没ス

兵器ハ鉄兜三七倍双眼鏡一付小銃一救命衫三以上致損スモ残存ス其他船体ト共ニ沈没ス

(2) 兵器消耗 十三挺機銃彈通常彈十八發跟彈六徹甲彈六

(3) 鹵獲品ナシ (4) 捕虜ナシ

(5) 主要人名簿 (警戒隊長及船長)

職名	氏名	記事	職名	氏名	記事
警戒隊長	川端啓次郎	生存	警戒隊長	鈴木清	生存
警戒隊長	青山兼雄	重傷	警戒隊長	石小長上助	生存
右 同	小笠原兼太郎	生存			

(終)

0379



ナ

軍機標

船機標第三號ノ三四六

昭和二十年三月二十七日

武装商船警戒隊戦術詳報第三四六號

商船運天丸警戒隊隊長海軍一等兵曹金子武雄

商船運天丸戦術詳報

船舶警戒部

一 船ノ性質貨物船

二 時刻場所 昭和二十年三月十三日三三。大改港

三 形勢 警戒隊警戒令中天候曇静穏視界不良

四 計畫(目的及企圖) 群小ニテ白米一〇七噸搭載三月十二日大改入港碇泊中

五 経過 昭和二十年三月十二日大改碇泊中翌十三日三三。空襲警戒報

發令二三五。ヨリ敵B29約九十機敵梯團ニ分レ來襲翌十四日

〇二五内二機本船上空ヲ高度約一五〇米ニテ來襲スルヲ探照燈ニテ

捕捉攻撃ヲ退セリ

六 成果 不明

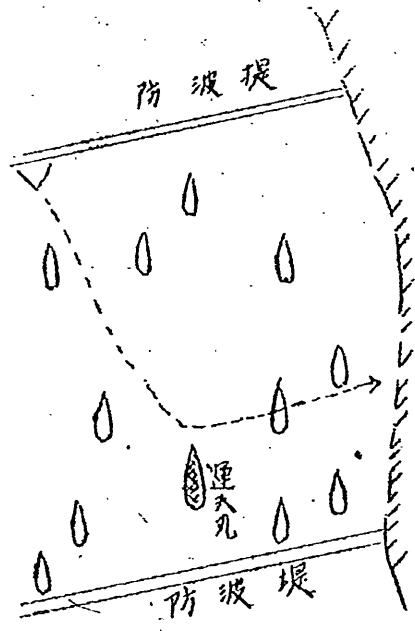
七 八 ナシ

一 合戦圖

二 ナシ

三 兵器消耗調 十三機機銃彈 三十五發

四 五 ナシ



(四) 主要人名簿 敬告隊長 曹金子武雄

同 隊員十三 砲機銃射上水 前田昇次郎

同 " " " 一水 尾崎半三郎

同 " " " 二水 横道外次郎

船長 宮崎治三

(終)

軍機秘

船警機密第三號ノ七五九

昭和二十年六月十一日

船 警 部

武裝商船警備隊副詳報第七五九號

荷船連天丸戦闘詳報

一 船ノ性質 貨物船  
二 時刻場所 昭和二十年五月九日一三五七北緯三四度四七分東經一三五度五四分

三 形勢 (七發島東方五哩)

警備隊警報発令中ナルニ詳細不明 單獨飛行中 天候晴 静穏 視界良好

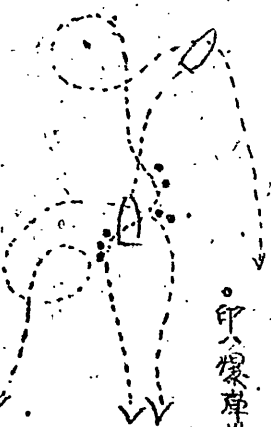
四 経過 門司港ヨリ空船ニテ郡山ニ回航セントス  
昭和二十年五月七日門司港郡山ニ回航ノ途次同月九日一三五七北緯三四度四七分東經一三五度五四分ノ地点ニ於テ左一七五度ヨリ敵飛行艇ニ接來襲内一機ハ右ヨリ一機ハ左ヨリ高度二〇〇米ニテ攻撃シ来ルモ之ヲ撃退セリ

五六 果 不明  
七八 戦 圖

(一) 戦 圖  
負傷者船員ニ名

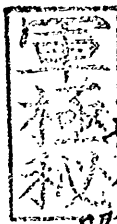
(二) 死 傷 者 調 十三  
負傷者船員ニ名

(三) 兵 器 消 耗 調 十三  
機銃隊長上曹金子武雄 十三  
機銃隊員上曹尾崎半三郎 一  
機銃隊員上曹尾崎治三 二  
機銃隊員上曹尾崎治三 二  
機銃隊員上曹尾崎治三 二  
機銃隊員上曹尾崎治三 二



印ハ爆彈投下位置

(終)



船警機密第三一號、四七四  
昭和三十年四月二十五日

船舶警戒部

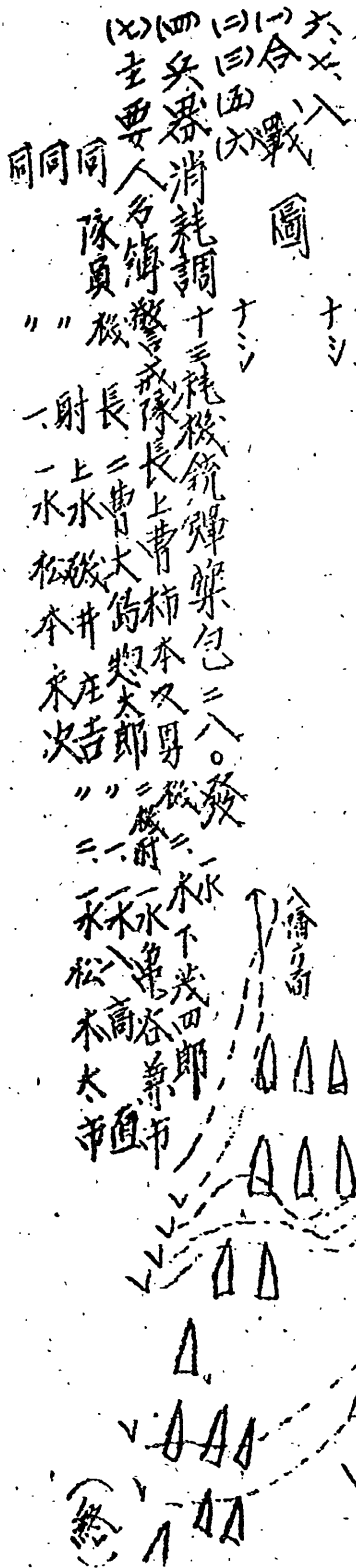
武裝船舶警戒隊戰報第四七四號  
商船雲洋丸警戒隊長海軍上等兵曹柿本久男

商船雲洋丸戰報詳報

一、船ノ性質 貨物船  
二、時刻場所 昭和三十年三月二十七日若松港四区  
三、形勢 敵情警戒隊警戒報發令中ナルニ詳細不明味方若松港四区  
ニ假泊中海上平穩視界不良ニ。米

四、計畫(目的及企圖) 若松港四区ニ假泊中ニ三三。頃空襲警戒  
過 昭和三十年三月二十七日若松港四区ニ假泊中ニ三三。頃空襲警戒  
報發令同時ニ敵B29左一。度ヨリ來襲爾後一五。迄單機  
又八敵編隊ヲ以テ數回ニ亘リ來襲セシニ其都度在港艦船  
地上部隊協同、下ニ擊退セリ

ナシ  
ナシ  
↑↑↑  
敵機進路



六七八  
合戰圖  
一、四、三、二、一  
二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

四、兵器消耗調十三機銃彈架包二八。發  
五、主要人員 隊長上曹柿本久男  
六、隊員數 長二曹大島勉太郎  
七、射 一水上水松本太市  
八、水 一水松本太市  
九、松本太市  
十、水松本太市  
十一、水松本太市  
十二、水松本太市  
十三、水松本太市  
十四、水松本太市  
十五、水松本太市  
十六、水松本太市  
十七、水松本太市  
十八、水松本太市  
十九、水松本太市  
二十、水松本太市  
二十一、水松本太市  
二十二、水松本太市  
二十三、水松本太市  
二十四、水松本太市  
二十五、水松本太市  
二十六、水松本太市  
二十七、水松本太市  
二十八、水松本太市  
二十九、水松本太市  
三十、水松本太市  
三十一、水松本太市  
三十二、水松本太市  
三十三、水松本太市  
三十四、水松本太市  
三十五、水松本太市  
三十六、水松本太市  
三十七、水松本太市  
三十八、水松本太市  
三十九、水松本太市  
四十、水松本太市  
四十一、水松本太市  
四十二、水松本太市  
四十三、水松本太市  
四十四、水松本太市  
四十五、水松本太市  
四十六、水松本太市  
四十七、水松本太市  
四十八、水松本太市  
四十九、水松本太市  
五十、水松本太市  
五十一、水松本太市  
五十二、水松本太市  
五十三、水松本太市  
五十四、水松本太市  
五十五、水松本太市  
五十六、水松本太市  
五十七、水松本太市  
五十八、水松本太市  
五十九、水松本太市  
六十、水松本太市  
六十一、水松本太市  
六十二、水松本太市  
六十三、水松本太市  
六十四、水松本太市  
六十五、水松本太市  
六十六、水松本太市  
六十七、水松本太市  
六十八、水松本太市  
六十九、水松本太市  
七十、水松本太市  
七十一、水松本太市  
七十二、水松本太市  
七十三、水松本太市  
七十四、水松本太市  
七十五、水松本太市  
七十六、水松本太市  
七十七、水松本太市  
七十八、水松本太市  
七十九、水松本太市  
八十、水松本太市  
八十一、水松本太市  
八十二、水松本太市  
八十三、水松本太市  
八十四、水松本太市  
八十五、水松本太市  
八十六、水松本太市  
八十七、水松本太市  
八十八、水松本太市  
八十九、水松本太市  
九十、水松本太市  
九十一、水松本太市  
九十二、水松本太市  
九十三、水松本太市  
九十四、水松本太市  
九十五、水松本太市  
九十六、水松本太市  
九十七、水松本太市  
九十八、水松本太市  
九十九、水松本太市  
一百、水松本太市